

呉市・川尻町合併協定調印式

日時：平成15年8月12日（火）10時

場所：シティプラザカンコー4階「瑞雲の間B」

次 第

1	開	会	呉市助役	川崎初太郎
2	来賓紹介			
3	経過報告		呉市助役	赤松俊彦
4	調印		呉市長	小笠原臣也
			川尻町長	渡邊正弘
5	立会人署名		合併協議会委員	
6	主催者挨拶		呉市長	小笠原臣也
			川尻町長	渡邊正弘
7	祝	辞	広島県知事	藤田雄山
8	閉	会	呉市議会議長	中田清和

出席者名簿

（来賓）

広島県知事	藤田雄山
呉商工会議所会頭	奥原征一郎
呉市女性連合会会長	喜田晃江

（呉市・川尻町合併協議会関係者）

会長	呉市長	小笠原臣也
副会長	川尻町長	渡邊正弘
委員	呉市助役	川崎初太郎
委員	呉市助役	赤松俊彦
委員	呉市議会議長	中田清和
委員	呉市議会副議長	下西幸雄
委員	呉市議会	
	広域行政対策特別委員会委員長	岩原 棕
委員	呉市議会	
	広域行政対策特別委員会副委員長	石崎元成
委員	呉商工会議所専務理事	岩城公順
委員	呉市自治会連合会会長	梅河内秀登
委員	呉市女性連合会副会長	馬場理子
委員	呉市社会教育委員	
	兼公民館運営審議会委員	平田久夫
委員	呉市PTA連合会会長	森政雄
委員	川尻町助役	扇谷恒範
委員	川尻町議会議長	綿野成泰
委員	川尻町議会副議長	三京玉男
委員	川尻町議会	
	合併問題調査特別委員会委員長	大下淑光
委員	川尻町議会	
	合併問題調査特別委員会副委員長	倉田良美
委員	川尻町商工会副会長	花本康彦
委員	川尻町自治連合会会長	河野温三
委員	川尻町女性会会長	中舛京子

委員	川尻町社会教育委員	上 治 真 一
委員	川尻町公民館運営審議会委員	北 村 正 次
委員	川尻町小・中学校PTA連合会会長	森 川 泰 博
顧問	広島県呉地域事務所長	三 上 忠 彦
監査委員	呉市監査委員	濱 純 三
監査委員	川尻町監査委員	河 上 剛

---

午前10時 開 会

芝山室長 皆様，本日は大変お忙しい中，ご臨席賜り誠にありがとうございます。定刻となりましたので，只今から「呉市・川尻町合併協定調印式」を始めさせていただきます。私は，本日の進行を務めさせていただきます，呉市広域行政推進室の芝山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

開会に当たり，呉市助役 川崎初太郎よりご挨拶申し上げます。

川崎助役 呉市・川尻町合併協定調印式の開会に当たり，一言ご挨拶申し上げます。

本日は公私ご多忙の中，藤田雄山広島県知事をはじめ，多数ご臨席を賜り，厚く御礼申し上げます。

さて，呉市と川尻町との合併につきましては，皆様ご承知のとおり，一昨年6月に任意協議会を設置し，合併協議をスタートいたしました。そして，両市町議会の議決を受け，本年2月に法定の「呉市・川尻町合併協議会」を設置し，新市のまちづくりビジョンでございます「建設計画」の策定を含む30項目に及ぶ協定項目を，全7回の協議会でご承認いただき，本日の調印式に至った次第でございます。

本日の調印後，様々な法的手続きを経て，来年4月1日の合併施行となりますが，新呉市のさらなる発展に向け，関係者の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。

芝山室長 ありがとうございます。

ここで，本日，ご臨席いただいておりますご来賓の皆様をご紹介いたします。

広島県知事 藤田 雄山様でございます。

呉商工会議所会頭 奥原 征一郎様でございます。

呉市女性連合会会長 喜田 晃江様でございます。

なお，本調印式に当たり，呉市・川尻町合併協議会委員の皆様には立会人としてご出席いただいております。

また，合併協議会顧問の広島県呉地域事務所長 三上忠彦様，合併協議会監査委員の呉市監査委員 濱純三様，川尻町監査委員河上剛様にもご出席いただいております。よろしくお願いいたします。

それでは，まず初めに，呉市と川尻町の合併に向けた取り組みの経過について，呉市助役 赤松俊彦よりご報告申し上げます。

赤松助役 呉市助役の赤松でございます。合併調印に先立ちまして，私の方から呉市と川尻町の合併に向けたこれまでの取り組みの概要につきましてご報告させていただきます。

お手元の封筒に同封しております「呉市と川尻町の合併に向けた取組経過」をご覧くださいければと存じます。

現在，住民の生活圏はモータリゼーションの進展や情報通信基盤の整備等により，既存の市町村域を超えて広域化しております。また，高齢化の進展・価値観の多様化により，住民の皆様が求められる行政サービスも多様化・高度化しております。さらに，今後の地域間競争という時代に対応していくためにも，より広域的な観点からの施策の展開が必要となるところでございます。このような中，基礎的自治体である私ども市町村が地方行政の中心となるべく，市町村合併の推進が全国的な流れとなっております。

このような状況の中、平成12年8月に、川尻町を含む旧呉広域市町村圏構成の1市8町で「呉地域合併問題協議会」を設立し、各市町の行政制度の比較を行うとともに、全世帯への広報誌発行やホームページの開設などを通して、住民の皆様へ合併に関する情報提供を行ってまいりました。

また、本年4月1日には、先陣を切り、下蒲刈町との合併施行を実現いたしましたことは皆様ご承知のことと存じます。

呉市と川尻町は、従来より、通勤・通学圏、医療圏、商圈といった住民の日常生活に関する繋がりが非常に強い状況にあります。昭和30年前後の大合併の折りには、当時の天応町、郷原村、昭和村とともに合併に向けた調査、研究を実施しており、また、昭和40年代の後半にも合併に向けた気運が高まった時期がございました。残念ながら、いずれも実現はいたしませんでした。以来、生活圏の一体化がますます進むとともに、行政面におきましても、福祉、環境、消防等の行政課題に共同で取り組み、更には、ソフト事業を通じ住民同士の交流を推進して参りました。

このような取り組みを行う中、平成13年6月には、任意協議会でございます「呉市・川尻町合併問題協議会」が設立されたところでございます。

また、幹事会等におきまして、600項目以上にも及ぶ行政制度の調整や検討課題の抽出等を行い、平成15年1月の川尻町議会臨時議会、2月の呉市議会臨時議会におきまして法定協議会設置議案が可決され、2月4日に「呉市・川尻町合併協議会」が設立されたところでございます。

全7回にわたる協議会におきまして、県御当局のご指導・ご助言をいただきながら、町政の両輪でございます渡邊川尻町長、綿野川尻町議会議長の卓越したリーダーシップ及び各委員の皆様のご努力によりまして、合併の形態や時期といった基本項目及び福祉、保健、経済振興、教育、上下水道等の各種事務事業の取扱い並びに新市建設計画の計30に及ぶ協定項目の一つ一つを慎重かつ迅速に審議し、その全てについて承認をいただきました。

これを受け、合併協定書を調製し、本日の調印式に至ったわけでございます。

なお、合併協定書につきましては、お手元の封筒の中にその写しを入れておりますので、ご覧ください。

以上、簡単ではございますが、呉市と川尻町の合併に向けた取組経過についての報告を終えさせていただきます。

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、合併協定の調印に入らせていただきます。合併協定書は呉市分と川尻町分の2部でございますので、調印は2回していただくこととなります。次に、順番でございますが、最初に呉市長並びに川尻町長が調印を行います。そのあとに、立会人の皆様に署名をお願いいたしたいと存じます。なお、合併協定書につきましては、受付でお渡ししております資料の中に写しを入れておりますので、ご覧ください。

それでは、小笠原市長、渡邊町長ステージの方へお願いいたします。

それでは、調印をお願いいたします。

(調印)

芝山室長 協定書を交換していただきたいと思います。

2冊目も調印をお願いいたします。

どうもありがとうございました。

続きまして、立会人の皆様のご署名をいただきたいと思います。お名前をお呼びいたしますので、ステージ中央へおすすみいただき、ご署名をお願いいたします。

それでは、呉市議会議長 中田清和様、よろしくお願いいたします。

(署名)

続きまして、川尻町議会議長 綿野成泰様、よろしくお願いいたします。

(署名)

続きまして、呉市議会副議長 下西幸雄様、よろしくお願いいたします。

(署名)

続きまして、川尻町議会副議長 三京玉男様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、呉市議会広域行政対策特別委員会委員長 岩原椋様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、川尻町議会合併問題調査特別委員会委員長 大下淑光様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、呉市議会広域行政対策特別委員会副委員長 石崎元成様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、川尻町議会合併問題調査特別委員会副委員長 倉田良美様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、呉商工会議所専務理事 岩城公順様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、川尻町商工会副会長 花本康彦様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、呉市自治会連合会会長 梅垣内秀登様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、川尻町自治連合会会長 河野温三様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、呉市女性連合会副会長 馬場理子様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、川尻町女性会会長 中舛京子様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、呉市社会教育委員兼呉市公民館運営審議会委員 平田久夫様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、川尻町社会教育委員 上治真一様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、川尻町公民館運営審議会委員 北村正次様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、呉市PTA連合会会長 森政雄様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、川尻町小・中学校PTA連合会会長 森川泰博様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、呉市助役 川崎初太郎様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

続きまして、呉市助役 赤松俊彦様、よろしくお願いいたします。

(署 名)

最後に、川尻町助役 扇谷恒範様よろしくお願いいたします。

(署 名)

皆様ありがとうございました。本日ここに、呉市と川尻町との合併協定調印が、合併協議会委員による立会のもと正式に執り行われました。これを記念しまして、藤田知事、小笠原市長、渡邊町長3人の固い握手により、その証を確実なものにしていただきたいと存じますので、恐れ入りますがステージの方へお願いいたします。

それではよろしくお願いいたします。

(広島県知事、呉市長、川尻町長 握手)

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、主催者を代表しまして、呉市長、川尻町長よりご挨拶申し上げます。

最初に、呉市長 小笠原臣也よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

小笠原呉市長 只今は、藤田雄山広島県知事をはじめ、これまで合併協議に向けてご尽力いただきました委員の皆様のほか、多数の関係者、市町民のご臨席を賜り、呉市と川尻町の合併協定調印を執り行うことができましたことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

地方自治体を取り巻く情勢については、地方分権の流れの中、保健、福祉、環境などの各分野において事業の高度化、広域化など様々な課題を抱え、大きな変革の時期を迎えております。

このような時期に、将来の歩むべき姿を的確に見定め、行財政基盤の強化により、地方分権の受け皿となる強い自治体の形成、すなわち合併が強く求められております。

幸い、呉市と川尻町は長い年月の間交流を続け、通勤・通学圏、医療圏、商圈等、一体となった生活圏を既に形成してきております。とはいえ、いざ合併ということになりますと、川尻町としての独立性がなくなる寂しさや、住民の声が十分反映されるかといった不安等があったらうと思います。

それを渡邊町長や綿野議長のリーダーシップと、これを機にお互いに合併してよかったと言えるまちづくりにつなげていこうという信念をもって、数多くの困難な調整を進めていただき、本日、合併協定調印を執り行うことができましたことは感激ひとしおのものがございます。

あらためて、長い間の両市町の関係者のご努力に心から敬意を表し感謝を申し上げます。それとともに今後、更なる発展に向け懸命の努力をする決意を新たにすることはもちろん、大きな責任と使命を与えられたという思いでいっぱいでございます。

川尻町におかれましては、国立公園野呂山に、国民宿舎野呂高原ロッジやキャンプ場、筆づくり資料館など、豊かな自然を生かした魅力ある施設を数多く整備されるとともに、野呂山芸術村や、音楽ホールとして大変評価の高いペイノロホールを備えた総合文化センターといった、住民が身近に芸術文化と触れ合える拠点施設を整備されるなど、自然・歴史・文化の薫る個性豊かなまちづくりを推進してきておられます。

これらの貴重な財産を新市の財産として引き継ぐわけでございますが、川尻町域、ひいては新呉市発展の起爆剤として最大限活かす、国内外へ強くアピールして参りたいと考えております。どうか皆様方におかれましては、今後とも絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後、本日の調印を受けまして、平成16年4月1日の合併という運びになるかと存じますが、法的にはまだまだ重要な作業がございます。これからも引き続き皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げますとともに、来年の4月1日、円滑に新市に移行できますことを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございます。

芝山室長 ありがとうございます。

続きまして、川尻町長 渡邊正弘よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

渡邊川尻町長 川尻町を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、藤田広島県知事ご臨席のもと、合併調印式を迎えることができましたのは、小笠原市長をはじめ、両市町の関係各位の深いご理解とご協力の賜物と感謝している次第でございます。

国や地方を通じた財政状況が、非常に厳しい状況に置かれている中、少子・高齢化や環境問題など社会経済環境の変化に伴って、多様化・高度化・広域化する住民ニーズに対し、地方分権の担い手である市町村が、より高度な行政サービスを提供するための体制整備を図りながら、住民が本当に安心して暮らすために、どうあるべきかを住民と共に考えていく、これが市町村合併であるということを基本に据え、これまでの協議を進めて参りました。

川尻町におきましては、行政懇談会や住民説明会での住民との直接対話、パンフレットや広報誌での情報提供などをはじめ、住民アンケートの実施、また、呉市とは、任意協議会・法定協議会を通じて、信頼関係に基づく協議が行われるなど、両市町の住民や議会の皆様のご理解ご協力

をいただきながら進めてきた結果として、本日の調印式が迎えられたのではないかとっております。

川尻町は、「人が輝くまち・かわじり」を目指し、一人ひとりが大切にされ、住民が参加し活躍できるまちづくり、また、国立公園野呂山や伝統的地場産業の「筆づくり」、あるいは、野呂山芸術村や筆と芸術の祭典など自然・歴史・文化芸術の調和を図りながら、川尻らしさをアピールできる取組を進めてまいりました。今後、新呉市のアピールポイントとして、ますます充実していただきますよう改めてお願い申し上げます。

最後になりますが、小笠原市長をはじめ、本日までご尽力をいただきました合併協議会委員の皆様へ感謝申し上げますと共に、本日ご列席の皆様のご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

芝山室長 ありがとうございました。

次に、大変お忙しい中、ご臨席いただいておりますご来賓の皆様を代表していただきまして、広島県知事 藤田雄山様よりご祝辞をいただきたいと存じます。藤田知事よりお願いいたします。

藤田広島県知事 呉市・川尻町の合併協定調印式にあたり一言お祝いを申し上げます。ご承知のとおり、今回の平成の大合併は将来にわたり、住民サービスの維持・向上を図るため市町村の行政体制を充実・強化するとともに、地域の個性を活かした活力のある新しいまちづくりのスタートとなるものでございます。そのためには、それぞれの地域の思いを一つにまとめていく大変困難な取組を伴うものでございます。そういった中、呉市と川尻町の関係者の皆様方が議論を尽くされ、お互いの立場を理解し、歩みよりながら合意形成を図られ、本日の合併協定調印式を迎えられました。市長さん、町長さんをはじめ、議会議員、合併協議会委員、関係者の皆様のごこれまでのご尽力に心より敬意を表する次第でございます。今回作成された新しい市の建設計画にありますとおり、この合併を契機に川尻町が所有している野呂山と瀬戸内海を活かしたレクリエーション機能や港湾・交流拠点機能が合併後の呉市の目指す海洋交流都市としての発展に大きく寄与することを心から期待をいたしております。県といたしましても、新しいまちづくりのため、できる限りの支援をしてまいる所存でございます。終わりに、本日の合併協定を機に呉市と川尻町の一体性がさらに高まり、個性豊かで、活力に満ちた、よりいっそう住みやすい地域となりますことを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。本日は誠にありがとうございました。

芝山室長 ありがとうございました。

それでは、閉会に当たり、呉市議会議長 中田清和よりご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

中田議長 本日は、呉市・川尻町の調印式にご多忙中のところ、藤田雄山広島県知事をはじめご来賓の皆様、関係者の多くの皆様にご列席いただき、調印式が執行されましたことに心から御礼を申し上げます。どうもありがとうございました。

振り返ってみますと、本当に長い間、協議会の委員の皆さんと、お互いの町、お互いの住民を幸せにするために、情熱あふれる協議を数回にわたり開会しました。そして円満に今日調印という運びになりました。委員の一人として本当に感慨深いものと同時に大きな責任を痛感いたしておるところでございます。また、スムーズに調印をする運びとなりましたことは、ひとえに市長、町長のご尽力のたまものと心から感激、感謝申し上げます。

来年の4月1日から新呉市ということで将来において出発するわけですが、「合併をしてよかった」というような考えを、全市民・全町民に与えるようにこれからも一生懸命努力して参りたいと思います。今日は調印式にお忙しいところ御出席をいただき、本当にありがとうございました。今後すばらしい呉市に向かうことを心から祈念いたしまして閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

芝山室長 ありがとうございます。

以上をもちまして、「呉市・川尻町合併協定調印式」を終了いたします。ご臨席の皆様、本日はどうもありがとうございました。

なお、報道関係者の皆様にご連絡申し上げます。この後、市長、町長による記者会見を隣の「瑞雲の間A」において行いますので、そちらへお願いいたします。

午前10時55分 閉会

---